

2009年6月18日

各位

産科フィスチュラとは、発展途上国において、出産時の障害や、集団暴力によって、女性の産道に孔があく症状です。このことにより、膀胱や大腸との壁が損壊し、女性は、尿漏れ、糞漏れといった悲しい状況を強いられることとなります。下肢の動きに支障が出る場合もあります。

WHOの調査によると、世界には、200万人以上ものフィスチュラ患者が存在しているといえます。専門家が執刀すれば、たった、3万円、5万円の費用で直せる疾病です。

日本において、この産科フィスチュラという疾病は耳になじみがありませんが、今回、ハムリンフィスチュラジャパンが、日本初めての産科フィスチュラ問題に取り組む団体として結成されて早4年、2009年の今年、グループ50周年記念を祝われることになりましたことを心よりお喜び申し上げますとともに、同会趣旨に強く賛同し、私自身も、できる支援をするつもりです。

皆様におかれましても、一人でも、産科フィスチュラに悩む女性が少なくなりますよう、国連ミレニアムMDG5【妊産婦の健康改善】目標達成に向けて、ぜひ、ご一緒に、ご協力されたく、心よりお願い申し上げます。

自民党各種婦人団体連会長
園田天光光

園田天光光